

## 東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会 議事概要

※枠内は委員意見

日時・場所 平成 29 年 6 月 29 日(木)午後 7 時から 9 時。東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員 6 名、他部会委員 1 名

議題 1 平成 28 年度東淀川区運営方針自己評価

議題 2 東淀川区将来ビジョン（たたき台）及び平成 30 年度取組みの方向性について

議題 3 市政改革プラン 2.0（区政編）（素案）について

議題 4 今後の取組みに向けて（ワークショップ）

- ・課題を踏まえ、5 年後にめざすべきこと
- ・そのために今できること

自助・共助を担う地域力の向上班

（課題をふまえ、5 年後にめざすべきこと）

- 隣近所の顔が見えるまち、挨拶ができるまち、みんなが参加し助け合えるまち、イベントなどおもしろいまち、こどもが元気に遊んでいるまち、声をあげられない人の声も聞けるまち。
- 見守り・青パトも高齢化、うまく世代交代するシステムが必要。取組なくなっては勿体ない。
- 日中働きに出る人が多い。企業が地域と見守りなど、今までの枠組み以外も拡大を考えては。
- 区ホームページを見る人少ない。検索ワードがわからないと必要な情報になかなかとりつけない。見るのは特定の人が多い。広く見てもらうのは難しい。

（そのために今できること）

- 挨拶から始める。見守りをしている大人と子どもが会話をすることでつながるきっかけになる。
- 自分の世界を持ち地域から離れる 20~30 代へのアプローチ、家庭を持ち地域に帰ってくる 30 代をまちにつなげる、イベントがあり、システム化がされていけば声かけがしやすい。
- こども 110 番は、認識が低くなっている。町会が把握に回り、こどもたちに伝えることが課題。隣近所の顔が見えるところにつながり、子育て・防犯面でも重要。
- 商店街が多い・団地が多いなど地域によって特色は違い、町会の力も違う。その地域に合った取組みをしていくこと。地域の特性に応じた区役所の細かい支援が必要。
- 町会に入っている人にしかその特典が見えない。活動などの情報も伝わらない。活発化するには、重要性やどういうことをしているかの説明が必要。
- こども食堂や学習支援が必要な人にどうやって自然に興味をもち気軽に参加してもらえるか。きっかけづくりが必要。

- ・町会の仕組みを知らない人が多い。入って得な部分が多いことや町会費がこんな事業になっているという活動の紹介が重要。地域が立ち上げているホームページやフェイスブックに町会単位で情報をまとめてもらい、区役所の HP から飛ぶような仕組みが一番わかりやすい。
- ・隣近所の顔をつなげることについては、挨拶運動から広げていけないかと考える。

## にぎわいのあるまちづくり班

(課題をふまえ、5年後にめざすべきこと)

- お年よりも子どもも元気なまち。安全な遊び場として学校開放。コンビニの活用。年配の方と子どもが一緒に集える場所。
- 自然の中で遊べる河川公園の強化。公園整備、歩道橋や信号設置などのアクセス向上、大きなイベントなどソフト面も必要。
- 緑化整備。開発中の高架下に緑化公園をつくるなど。
- 子どもが楽しめる大きなイベント。B級グルメなど。
- 犯罪の減少。特に多い女性犯罪の減少。
- 道を整備し散歩しやすくして、椅子を置き、皆が外に出ていくようなまち。バリアフリー。

(そのために今できること)

- 淀川に行きやすくし子どもが集う場にするため道路の整備や信号など足りない部分を洗い出す。
- 夢の公園・夢の淀川など、子どもからアイデアを集める。
- 大きなイベントを実施するなど人が集まるようなことを考える。
- 女性犯罪の減少。
- 子どもと高齢者が一緒に交流できる場所をつくる。
- 港町でしているように、河川敷に全国からオブジェを募集して設置しては。

- ・淀川は東淀川区にとって一番活用等していける場。だが、多くの車が走るところを子どもが渡れるアクセス改善、信号の設置が必要。関係機関との調整ができればいい。
- ・女性に対する犯罪の対策必要。地域とともに改善に取り組みたい。

## 議題5 今後の区政会議スケジュール